

百歌繚乱 音魂祭 思いを一つに



打瀬中学校のクラス対抗合唱コンクール「音魂祭」は10月26日(土)に千葉県文化会館大ホールで行われ、9月中旬以来1ヶ月以上にわたってクラスごとに猛練習してきた歌声を1,700人収容の大音楽ホールで響かせました。どのクラスもすばらしい歌声で驚かされる演奏のなか、最高位である3年生の最優秀賞には3-D 安藤学級の自由曲「ほらね」が最優秀賞を獲得し、今年度の音魂祭は幕を閉じました。【松村】

音魂祭はクラス対抗合唱コンクールという形式で行われるので、外部からの審査員による審査が行われ、各学年ごとに最優秀賞、優秀賞、優良賞という賞が与えられます。どのクラスも目指すのは当然最高位の最優秀賞ですが、特に3年生はクラスが2年生から同じ先生やメンバーで進級するためか2年越しの競争です。今年、その3年生最優秀賞に選ばれたのは3-D。自由曲

の「ほらね」を見事に歌いきっての受賞でした。今年はクラス間での差がなく、どのクラスも非常に高いレベルで競い合っていて、審査員の判断も僅差での決定だったと思います。それだけに「3年生最優秀賞、3年D組」の発表を聞いたとき、D組は全員で喜びを爆発させていました。見ていて心から拍手を送りたくなりました。

今年のクラスごとの受賞はつぎのように

なりました。

1年生

最優秀賞：1-G / 優秀賞：1-E / 優良賞：1-A

2年生

最優秀賞：2-A / 優秀賞：2-G / 優良賞：2-B

3年生

最優秀賞：3-D / 優秀賞：3-A / 優良賞：3-B、3-E

ベイタウンニュースでは毎年音魂祭取材してきましたが、今年は今まで以上に声を出して歌うことを目指した練習をしていたように感じました。1年生のリハーサルの際、音楽担当の保科先生は「もっと大きな声で」と何度も繰り返し求め、取材していてすごく良くなったと思っても「まだまだもっと出ます」といって更に大きな声を求めていました。しかも単に大声を出すのではなく、歌詞の内容を理解して人の心に訴える、歌本来の持つ力を引き出す指導をしていました。

音魂祭本番の前日。学校の多目的室で3年生の練習を聞いたとき、これまで聞いたことのないような音量で練習会場が響いていたことに驚かされました。これには見ている担任の先生や音楽の先生も感動した様子でした。毎年音魂祭を見ている先生方が驚くほどの変化だったようで、これまでの卒業生たちが育ててきた打瀬中の伝統の音に更に大きな魅力が加わっていることを強く感じました。

音魂祭では毎年県内の高校から吹奏楽部や合唱部がゲストとして招かれますが、今年は千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部が招かれ、質の高い管弦楽の演奏を聞かせてくれました。特に今年は3年生の学年合唱課題曲「大地讃頌」と「ふるさと」をオーケストラ演奏で、しかも生徒だけでなく会場内全員で歌うというサービスがありました。大地讃頌を3年生が学年全員で歌うことは打瀬中の伝統ですが、今年は1,700人の大ホール内全員がオーケストラの伴奏で歌うという貴重な経験もでき、楽しい音魂祭でした。

音魂祭は打瀬中学校の生徒数が多くなり、県内で唯一参加者全員を収容できる場所として千葉県文化会館大ホールで開催されています。しかしそれでも十分な広さとはいえ、中学生たちの合唱を保護者やベイタウンの一般の方がすべての演奏を聞くことはできません。現在は保護者の方が子どもの所属学年の演奏のみ大ホールで、それ以外の演奏は小ホールの映像で聞くことができます。せめて1、2年生の父兄の方に3年生の思いが込められた演奏をぜひ聞いてもらいたいというのが毎年感じる唯一の残念な点ですが、これは贅沢な望みです。



(写真上左)「最優秀賞、3年D組」という発表を聞き、客席で立ち上がって喜ぶ3-Dのみなさん。毎年繰り返される光景ですがとても新鮮で感激させられます。おめでとう3-D。(写真上右) 会場の千葉県文化会館入り口の広場に集合した打瀬中生。この日は家から直接会場に電車に来ていたが遅れや混乱もなく、各クラスとも整然と点呼がされていた。(写真右下) 今年音魂祭にゲストとして招待された千葉女子校オーケストラ伴奏で歌う大地讃頌。

「音魂祭」への意気込み 2人の音魂祭実行委員の思い

【3-A 齋藤敦也】

今、私の学級では、自由曲の「青い鳥」を練習しています。本番まで残りわずかな時間となり、練習は大詰めとなっています。私は指揮者として練習に携わってきました。最初はクラス全体の士気が低く、納得のいく音楽がくれなかつたり、表情が暗く、あまり口があいていなかたりする人が多かったです。しかし練習を重ねることで上達し、それにつれてクラス全体の士気も上がりました。

このようなクラスの成長には、感慨深い



ものがあり、一生懸命練習してよかったと思える演奏になっています。本番も楽しみながらみんなで歌い、最優秀賞を獲得したいです。

今年の打瀬中の音魂祭のスローガンは「百歌繚乱思いをひとつに」です。このスローガンのように、当日は、各学級の個性あふれる演奏が、ホールに響きわたれば、今年の音魂祭が成功すると思います。実行委員長として音魂祭の進行が円滑に進むようにサポートをして、学校の全員の思い出に残るすばらしい音魂祭にしたいです。

【3-B 吉澤響希】

私たち3年B組は「サクラ色」を歌います。この歌は、作者のアンジェラ・アキさんの感情がつまっているので、歌詞一つ一つの情景を想いながら歌うことが大切だと考えました。

そのために、練習時間を活用して歌詞への思いをみんなで共有する時間を作りました。

これにより、今までよりもさらに心の込められた合唱になりました。

私は実行委員として、クラスをまとめてきました。はじめは、夏休み明けのテストとかぶり、歌詞も定着していない状況で、計画どおりに進まず気持ちばかり焦りました。その後、クラスのみならず限られた時間の中、中身の濃い練習をしようと心がけました。今では本番のつもりで一回で百パーセントに近い力を発揮できるようになりました。

今年で私たち3年生にとっては最後の音魂祭になります。音魂祭本番で3Bのサクラを咲かせられるように、残りの練習を全力で取り組みたいです。クラス一丸となって最優秀賞目指してがんばります。



打瀬中学校 男子ハンドボール部 目標は市大会優勝

10月のある日の午前、中学校の周りを歩いているとグラウンドの方から部活動をする中学生の強く大きな声が聞こえてきました。驚いて見ると、たまたまこの日は休日学校は閑散としていたのですが、グラウンドではこの部活だけが練習をしています。男子ハンドボール部。少人数ですが、強く気迫のこもった声をかけあい、緊張感が伝わってきました。気になって部活動の様子を聞いてみました。

インタビューに応じてくれたのは今岡煌一郎君。今年7月の総体後に部長になったばかりの2年生です。実は今岡君とは1年前にEX講座で会ったことがありました。当時はまだ1年生で小学校を出たばかりでしたが、今部活の部長をしている今岡君は全く別人と思えるほど精悍な顔つきで、表情からは「今僕は部活に燃えています」という気持ちが伝わってきました。

少し圧倒されながら、「なぜそんなにハンドボールに熱中するの」と単純な質問から話を始めました。即座に返ってきた答は「千葉市で優勝して県大会に出る目標があるからです」というものでした。彼によると、今千葉市の中学校男子ハンドボールでは花園中と若松中の2校が圧倒的な強さを誇っていて、この2校の壁を破らない限り市大会で優勝することは無理なのだそうです。つまり目標は「打倒花園、打倒若松」と、とても具体的で明解です。

そしてこのインタビューは、翌々日の10月20日にその若松中と新人戦の準決勝で対戦する直前の時期でした。なるほど、

気合いの入った厳しい練習していたのはこんな背景があったのです。インタビューした日はあいにくの雨でグラウンドでの練習はありませんでしたが、多目的室では部員がビデオで若松中の試合を見て、分析と対策を練っている最中でした。

打瀬中の男子ハンドボール部は現在2年生が7人、1年生が3人という、他の部活に比べると小さな部活です。しかし部活の雰囲気は伝統的にハンドボールという競技への執着が強いようで、部員の中には校外のサッカークラブに所属しながら学校ではハンドボール部のレギュラーとして活躍しているという子もいるそうです。

今岡君も入学したときはハンドボールにはあまり興味はなく、サッカー部を目指して体験入部をしようとしたら、たまたまサッカーシューズを持参していなかったため断られ、やむなく立ち寄ったハンドボールがすっかり好きになり今に至っているといいます。

この部活の競技への熱意は創部以来のもの



のようです。打瀬中にハンドボール部ができたのは今から8年前。ドイツのハンドボールプロ選手だったという異色の経歴をもつ川田先生が赴任してきて創部された部活です。当時から部員数は少なかったのですが、部員のハンドボールへのこだわりが強い部活で、卒業後もハンドボールをつづける生徒が多い部活という印象が強くあります。その川田先生は今は強豪花園中を指導し、打瀬の壁となっているのは皮肉な話です。先生が異動してから打瀬中ハンドボール部は活動をつづけ、今は平野先生の熱心な指導で花園中にも対抗できるほどの強豪チームになりました。

中学時代には何であれシンプルで具体的な目標をもち、それを追いかけることが大切だと思います。ハンドボール部の生徒はこの目標に一丸となって挑んでいるという印象を強く感じました。とはいえあまり焚きつけるのも良くないと思い、「勉強もがんばれよ」と取って付けたように話しましたが、「学業も頑張っています」ときっぱりと返してきました。今の中学生はすばらしい。時代を感じるとともに応援したくなりました。がんばれ打瀬中生。【松村】



「たんけん」して学ぼう ～経験を深める学習～

10月のある午前中、コアで打ち合わせをしていたところ、そろいの黄色い帽子の美浜打瀬小の低学年のグループが入ってきました。館長さんに礼儀正しくあいさつし、何かの学習活動をしています。そういえば、毎年秋になると小学生が街中を歩きまわっているのを見受けられます。どのような活動だろうと思い、美浜打瀬小学校の今関校長先生に話を聞きました。

【小原】

「生活科」。これが、その小学（2年）生たちが街を見て回る授業の科目でした。「ベイタウンまちたんけん」と名付け、2校時分（約90分）をかけて自分たちが暮らす町を「たんけん」します。美浜打瀬小だけでなく、異なる名称で他の小学校でもやっています。なにげなく生活している街の様々な人に、あらたまって話を聞き、普段は目にするののない部分に触れながら、社会と自分とのつながりを再発見し、郷土愛を育むことを目的にしているそうです。

街探検をするにはまず、行きたい場所を子どもたちが考え、6人程度のグループを作ります。もちろん事前に先生方が訪問先に連絡・交渉します。また、安全対策として保護者の「安全見守り隊」を募集し、「隊員」と打ち合わせをします。これで根回しはばっちり。また、ベイタウン自体がコンパクトで安全な作りになっていて、通行人も多く、人の眼が行き届いているので安心して学習活動に集中できるようです。

昔に小学校を卒業した私には聞き慣れない「生活科」とは、小学1・2年生の科目で、社会科・理科・日常生活についての様々な物事について、遊びを含め総合的に体験

を通して学び、成長する、という科目だそうです。この中には、お年寄りに昔遊びを教えてくださいというような活動も入っています。

1年生では、秋になると「秋となかよし」というテーマで、季節の特徴を知るために交通公園などに行って虫や木の実など自然のものを集めるなど「秋」を感じる体験活動をしているのだそうです。「教科書からではなく、自分で発見することが大切です。発見や驚き、という自らの経験を深めていくことで学びが身についていくのです」と校長先生は体験による学びの重要性を教えてくださいました。

このあと、3年生は「社会科」の一環で「店の仕事」という内容で、消費者からの観点と売る側からの観点を学び、立場を変えて物事を考えることを学びます。4年生はさらに世界が広がり、佐原へ校外学習です。地域の歴史・産業や自然環境も異なる小学生同士での交流があり、大いにお互いの刺激になるようです。5年生は県外への校外学習。日本の基幹産業である自動車工場の見学です。そして6年生は、第二次世界大戦時の千葉空襲の体験者から直接話を

聞き、防空壕などの戦争の名残を実際に自分の目で見ます。これがこれからの生き方にも影響する体験的な学びの場となるそうです。

子供たちの世界は、家庭や教室の中から始まりますが、外とのつながりを順序よく持つことによって徐々に広がっていきます。地域との係わりで思い出しましたが、美浜打瀬小は、毎年新年のもちつき大会で来場者をもてなす企画を実践します。それはこの学びの延長線上にあったのです。

今回は美浜打瀬小から子どもの成長の過程を垣間見させてもらいましたが、打瀬小、海浜打瀬小でもユニークなカリキュラムがあります。「今僕の学校では…」のコーナーでそんな学校の様子を知ることができます。毎号どうぞお楽しみ下さい。



第26回ソフトボール秋大会

第26回ソフトボール秋大会が10月20日（日）、美浜ふれあい広場野球場で開催され、8チーム116人（うち女性19人）が秋空の下で汗を流し、「ブエナリージ」（ブエナテラーサの理事チーム）が優勝して終わりました。この大会は打瀬地区スポーツ振興会が主催するもので、番街ごとに集まってつくられたチームや、同じ保育園の保護者だったという縁で結成されたチームなど毎年多くのチームが参加しています。

参加者の年齢は見たところ20代～70代と幅がありますが、スローピッチのソフトボールを使用して誰でも参加できるように1試合6イニング制で女性を必ず1名以上入れることなど独自のルールで運営しています。

主催するスポーツ振興会の磯田さんによると、大会は以前は三丁目公園や打瀬中グラウンドで開催していましたが、毎年参加チーム数が増え現在は花見川終末処理場の下水処理施設の上にてきた美浜ふれあい広場野球場を使って開催され、今大会からは新しくできたベイパークエリアからの参加もあったそうで、生涯スポーツとして年々定着しているとのことでした。



ジュニアコーラス フェアリーズ 第15回定期演奏会

日時：11月10日（日）

場所：幕張ベイタウンコア 音楽ホール

入場無料、13:00 入場待ち行列の開始 13:45 開場 14:00 開演

出演：ジュニアコーラス フェアリーズ

（今年度 東京国際合唱コンクール金賞、関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞、千葉県合唱アンサンブルコンテスト1位金賞、朝日新聞社賞）

指揮：森本真由美 ピアノ：白田圭介 ゲスト：吉田英奈（バレエダンサー）

後援：千葉市・千葉市教育委員会・千葉県合唱連盟

「パプリカ」を一緒に歌うお友達を大募集！！

お問い合わせメールに、「いっしょにうたおう参加希望」と明記の上、お名前・連絡先をご連絡ください。当日1回だけ練習があります。（13:00～13:40）3歳以上です。

E-mail jcfairiesoffice@yahoo.co.jp

URL <http://jc-fairies.net/>



混声合唱団コア・チェンバーシンガーズ 第11回定期演奏会

街の混声合唱団「コアチェンバーシンガーズ」が第11回定期演奏会を開きます。

日時：12月1日（日） 12:30 開場 13:00 開演

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

プログラム：4人の作曲家による「Ave Maria」、「いつの日か」（源田俊一郎編曲）、「涙をこえて」（中村八大）、ほか。



つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

電話 296-5100

【11月の主催講座の紹介】11月2日(土)から受付中

その1:「うたせシニア体操とヤクルトさんのおなか元気教室」

日時: 11月20日(水) 14:00~16:00

場所: 打瀬公民館ホール

講師: 千葉県 ヤクルト 販売株式会社

対象: 60歳以上の方(定員: 先着50名) 費用: 無料

その2: パソコン講座「ワード&エクセルで年賀状作り」

日時: 11月26日(火)、27(水)、28(木)、29(金)

いずれも 9:00~12:00

場所: 打瀬公民館

講師: 千葉市生涯学習センター

対象: 文字入力ができる成人

(定員: 先着10人) 費用: 1200円

その3: 「津軽三味線と民謡をコアのホールで聴きましょう」

日時: 11月30日(土) 13:30~15:00

場所: 打瀬公民館ホール 演奏者: 丸山会のみなさん

対象: 成人(定員: 先着100名) 当日参加も可 費用: 無料

その4: こども食育クラブ「豆腐を作ってみよう」

日時: 12月7日(土) 10:00~12:00

場所: 打瀬公民館調理室 講師: コープみらい食育サポーター

対象: 小学校4年~6年生(定員: 先着12名) 費用: 300円

11月のコア・イベント

わくわくおはなし会 11月の常設おはなし会

日時: 11月16日 第3土曜日 午前10:30~

場所: ベイタウン・コア講習室

次回もわくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね!

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

お問合せ先: chibawaku2@freeml.com

第188回ファッティオリの会

日時: 11月24日(日) 午前9:30~

場所: ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファッティオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

受付締め切り: 11月17日(日)

申込先 tgunjimamy@yahoo.co.jp (郡嶋)

親の「しゃべり場」開催のお知らせ

小・中学校のお子さんをお持ちの保護者を対象に、子育てについて、少人数グループで日頃子どもと向き合っていること、地域のこと、気分転換等…、何でも話せる会となっています。何かしら解決の糸口になるかもしれません。

子どもに関わっている方ならどなたでも参加できます。

*学区内の小・中学校に通学されているお子さんのご家庭には、月初めにお手紙が配布される予定です。

日時: 11月21日(木) 10時~12時

場所: ベイタウン・コア 講習室

【12月の主催講座の紹介】12月2日(月)受付開始

その1: 「大正琴をたのしみませんか」

日時: 12月17日(火) 13:00~15:00

場所: 打瀬公民館講習室

講師: 大正琴琴江会のみなさん

対象: 成人(定員: 先着10名) 費用: 無料

◇申し込みの方法

打瀬公民館へ直接来館または電話で

〈問い合わせ〉打瀬公民館 電話 296-5100

受付・問い合わせ時間: 9:00~17:00

冬のアトリウムコンサート

12月21日(土) 14:00~

場所: 打瀬公民館アトリウム

特設ステージ(入場無料)

出演: 千葉ソロギターサークル

幕張ベイタウンオーケストラ

折り鶴ウェーブのお知らせ

社会福祉協議会手芸サロン・打瀬公民館共催

2020オリンピックパラリンピックおもてなしプロジェクト

折り鶴ウェーブ

平和と日本文化の象徴である折り鶴を選手村を訪れる選手・スタッフの方々にお渡しするおもてなしの取り組みです。あなたも折り鶴ウェーブを通じて東京2020大会に関わる一員になりませんか?

打瀬公民館、地域連携センターにて、折り鶴作成コーナー、回収箱を12月15日(日)まで設置します。

紙は15×15の大きさなら自由です。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

11月23日(土) 寺子屋工作ランド

「やじるべえ」

日時: 11月23日(土) 第4土曜日 午前9:30~11:30

場所: ベイタウン・コア工芸室

今月はベイタウンでもたくさんあるドングリの実をつかって「やじるべえ」をつくりまします。

持ってくるもの: クレヨン、サインペンなど

参加費: 50円(保険料)

キュービックカフェ 11月・12月のイベント・ワークショップ



毎月9日はキュービックの日!

『キュービックマルシェ』開催

<11月> 11/9(土) 11時~

<12月> 12/14(土) 11時~

クリスマスマルシェ開催!

イベント詳細・お問い合わせ: キュービックカフェ
<https://www.cubic-cafe.com/>



11月のベイタウンかふえ

日時: 11月13日(水) 午後1:30~4:00

場所: 地域連携センター(ベイタウン・コア横)

「出演はおなじみ安弾手!」歌と楽しいトークで素敵なひとときを共に過ごしましょう。

後半は、茶話会です。ゲーム、ハンドマッサージ、回想新聞もあります。認知症の不安に応える専門家が常駐しています。遠慮なくご相談下さい

問い合わせ: うたせ認知症を考える会

中澤(Tel: 211-0588)